



川北朝
鄰編輯

幾何學原礎例題解式

二

二
686
9





幾何學原礎卷二例題解式

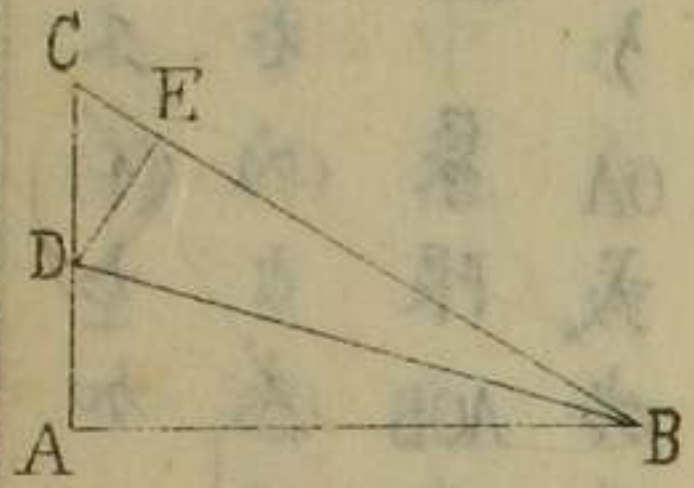
駿河

川北朝鄰 編

三 ABCを直三角ふ命しACの邊をDふ於て二等分し
 DよりBCに垂線DEを画せればBC弦の分線BE EC各
 の上の方の差を他一邊ADの上の方ふ等き者あり
 (1) $AD = CD$
 (2) $BD^2 = BE^2 + ED^2$
 (3) $ED^2 = CD^2 - CE^2$
 (4) $BD^2 = BE^2 + CD^2 - CE^2$
 (5) $AB^2 = BD^2 - AD^2$
 (6) $BD^2 + AB^2 = BE^2 + CD^2 - CE^2 + BD^2 - AD^2$
 (7) $AB^2 = BE^2 - CE^2$

(147) を得故ふ (147) 不因て (5) あり

(1) の如く定 (2) (3)



駿河川北朝鄰編輯

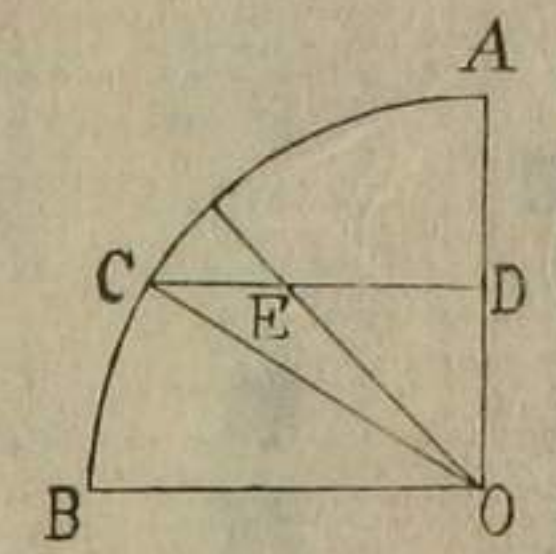
幾何學原礎例題解式

明治十五年
七月出版

静岡文林堂上梓

故ふ(4)を加へ(6)あり此兩邊よりBDを減しAD, CDを去れむ(7)とふる依て直角三角の一邊云

(三) 象限AOBの中心より其弧線中の或るC点よりOA或るOBへ垂線CDを引きAOBの角を等分する所の半徑とE点ふ於て截合時者CD, DE上の方の和をAO上の方ふ等き事を詳解せし



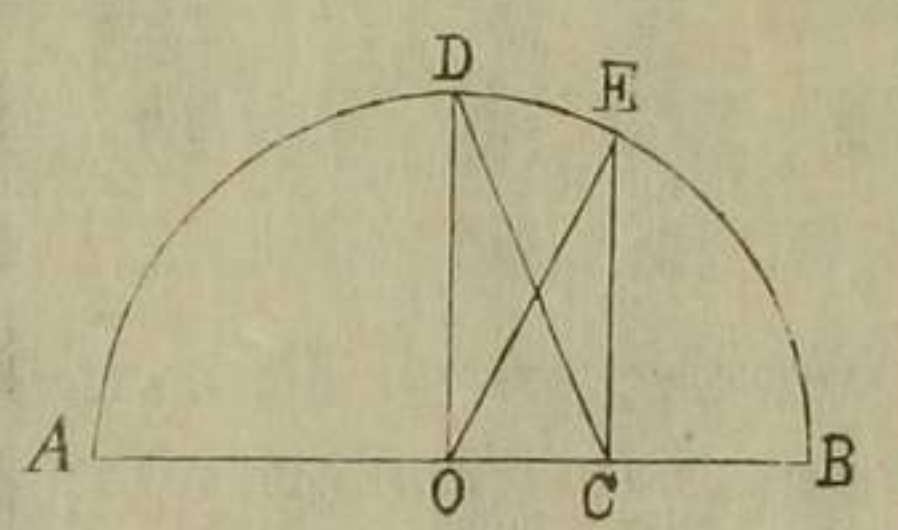
$$\begin{aligned} \angle DOE &= \angle BOE = \frac{1}{2} \angle AOB & (1) \\ \angle BOE &= \angle DEO & (2) \\ \angle DEO &= \angle DOE & (3) \\ DO &= DE & (4) \\ DO^2 + DC^2 &= OC^2 & (5) \\ CD^2 + DE^2 &= AO^2 & (6) \end{aligned}$$

(證) 今C点者ABの弧中Bに近き者とせ然らむCよりOAに垂線をかきこれをAOBの角を等分する

線者Eに於て會せし(若しC点Aに近き時者C点よりOBに垂線をかきこれをAOBの角を等分する事あり) AOBの角が直角ある故ふ(1)あり(1.29)ふ因て(2)故ふ(3)あり(1.6)ふ因て(4)あり(1.47)ふ因て(5)を得OC, AOが共半徑ある故是れを變じて(6)を得る依て象限AOBの中心云

(三) AOBを中徑としてOを中心として半圓をかきAOBの中にある一点よりDに於て弧を等分するCD線及び中徑に垂直にしてEに於て弧を會するCE線をかきこれをCD, CE二線上の方の和を半徑上の方の二倍に等し

幾何學原稿卷二 是角三

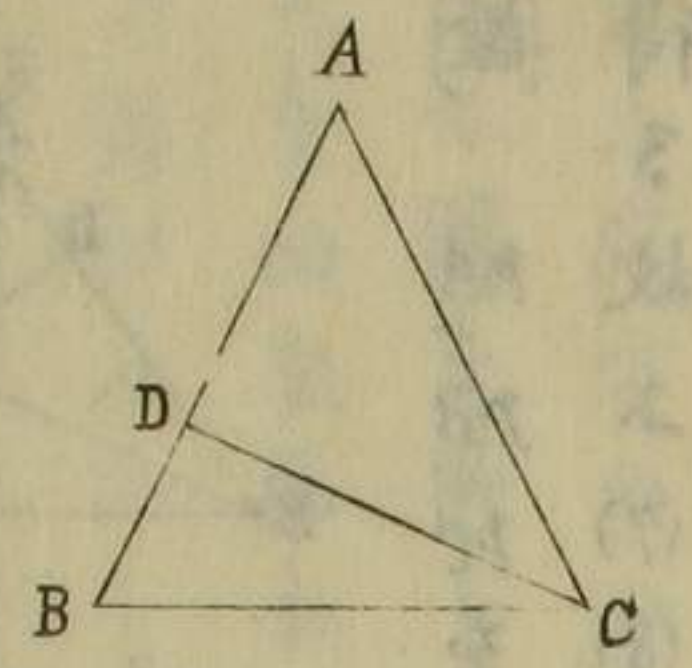


$$\begin{aligned} OD &= OE & (1) \\ CD^2 &= OD^2 + CO^2 & (2) \\ CE^2 + CO^2 &= EO^2 & (3) \\ CE^2 + CO^2 &= OD^2 & (4) \\ CD^2 + CE^2 + CO^2 &= OD^2 + CO^2 + OD^2 & (5) \\ CD^2 + CE^2 &= 2 \cdot OD^2 & (6) \end{aligned}$$

即ち (4) あり (2) を加へ (5) 兩邊より CO^2 を減して (6) を得る
 依て若半圓の徑ふ於る云
 (四) ABC の二等邊三角の頂角を A あり若 AB へ垂線 CD を引時其三邊上の方の和を BD 上の方と AD 上の

(證) 中心 O より OD, OE を結合せられたる (1) の如くして各半徑あり CD 半圓周を等分せる故に OD 中徑に垂直あり (1.47) 不因て (2) (3) を得る

方二段と CD 上の方三段の和を等きあり

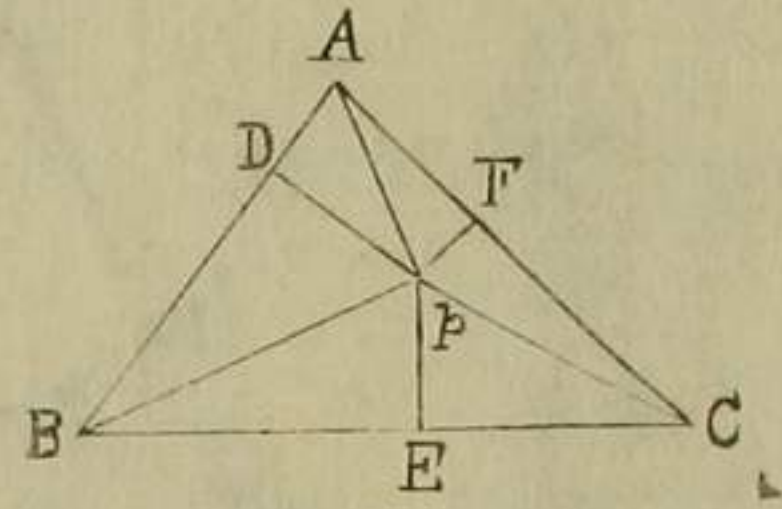


$$\begin{aligned} AB^2 + AC^2 &= 2 \cdot AC^2 & (1) \\ AC^2 &= AD^2 + CD^2 & (2) \\ BC^2 &= BD^2 + CD^2 & (3) \\ AB^2 + AC^2 + BC^2 &= & (4) \\ 2 \cdot AD^2 + 2 \cdot CD^2 + BD^2 + CD^2 & & \\ AB^2 + AC^2 + BC^2 &= & (5) \\ BD^2 + 2 \cdot AD^2 + 3 \cdot CD^2 & & \end{aligned}$$

(證) (1.47) 不因て (2) (3) を得 (1) (3) 相併て之を解き (4) あり故に (5) を得る依て ABC の二等邊三

(五) 角の頂角云云
 ABC の三角を直線圖に命し P を一点とあり此点より AB, BC, AC の各邊上へ垂線 PD, PE, PF を画きれ各邊を二部に分つ其分線 AD, BE, CF の上の方の和を BD

CE, AF の上の方の和不等しかるべし



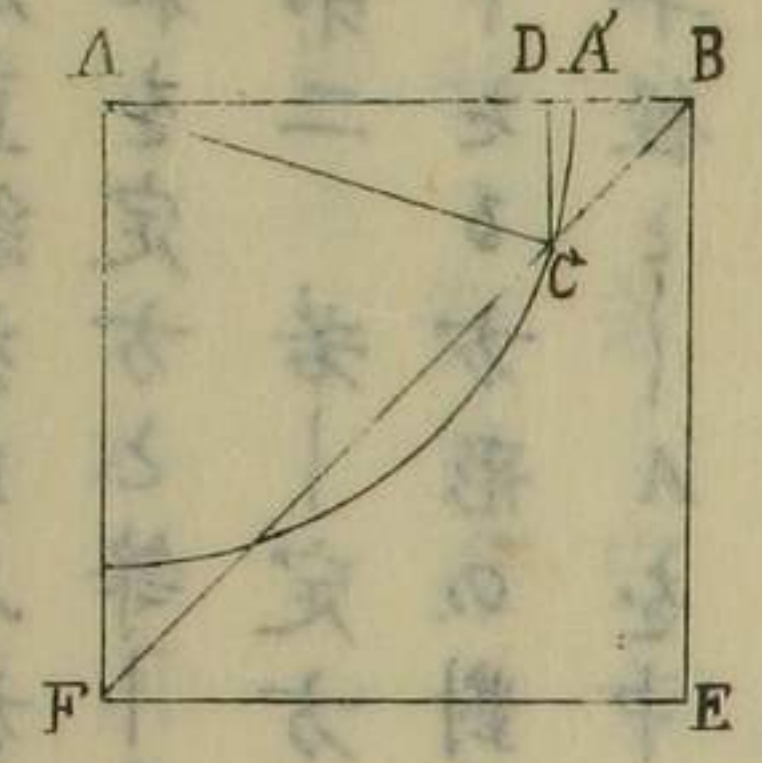
$$\begin{aligned}
 AD^2 + DP^2 &= AP^2 & (1) \\
 AF^2 + FP^2 &= AP^2 & (2) \\
 BE^2 + EP^2 &= BP^2 & (3) \\
 BD^2 + DP^2 &= BP^2 & (4) \\
 CF^2 + FP^2 &= CP^2 & (5) \\
 CE^2 + EP^2 &= CP^2 & (6) \\
 AD^2 + DP^2 &= AF^2 + FP^2 & (7) \\
 BE^2 + EP^2 &= BD^2 + DP^2 & (8) \\
 CF^2 + FP^2 &= CE^2 + EP^2 & (9) \\
 AD^2 + DP^2 + BE^2 + EP^2 + CF^2 & & \\
 + FP^2 &= AF^2 + FP^2 + BD^2 & (10) \\
 + DP^2 + CE^2 + EP^2 & & \\
 AD^2 + BE^2 + CF^2 &= AF^2 + BD^2 + CE^2 & (11)
 \end{aligned}$$

(六) 第一 AB を定直線に命し其各の分線上の方の和を得る故に (7) (8) (9) あり相併せて (10) を得同しき者を兩邊より省き (11) を得る依て或る一点より直線圖云云

(證) PA, PB, PC を結合せしむ (1.47) 不因て (1) (2) (3) (4) (5) (6) を

を定方と等しからしむる事を求む

AB の一端 B より直角の半に等き ABF なる角を造り AB 中不定方の一辺 AA' を認め之を半径とし A を中心として圓を画し BF 不 C 2 於て交らしむ AAB 不垂直ふより CD を画し D 不於て會せしむせむ D 求むる所の一点あり



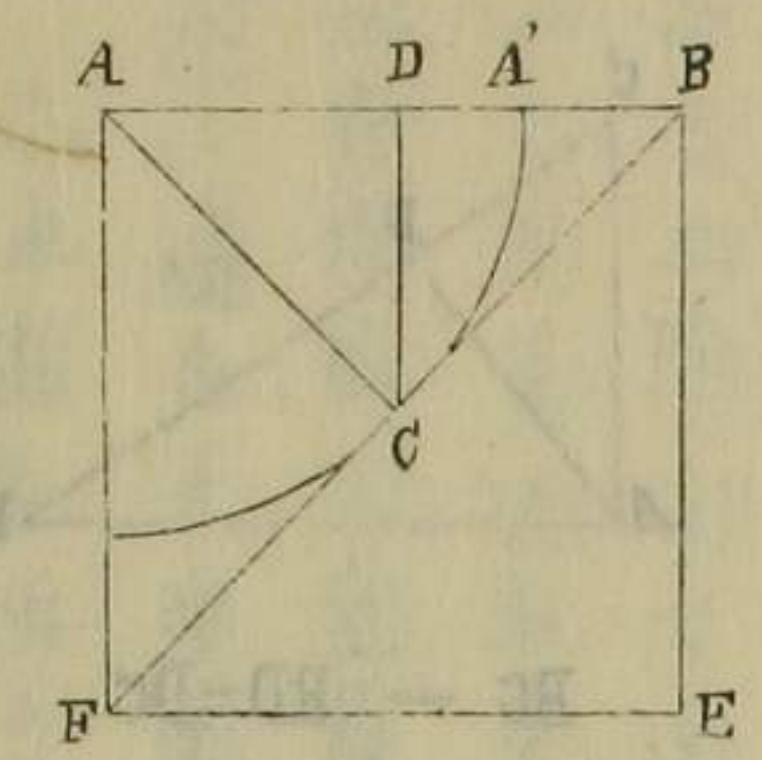
$$\begin{aligned}
 AA' &= AC & (1) \\
 \angle ABF &= \frac{1}{2} \angle R & (2) \\
 BD &= CD & (3) \\
 AC^2 &= AD^2 + CD^2 & (4) \\
 AA'^2 &= AD^2 + BD^2 & (5)
 \end{aligned}$$

(證) A, C を結合せしむ (1) (2) あり先知りて (2) あり故 (3) を得 (1.47) 不因て (4) あり變り (5) あり依て AB の

定直線をDに於て分ち其各の分線AD, DBの上の方の和を定方と等しからしめたり

第二 若し定方の一邊AA'を定直線ABを以て一邊としたる方形の對角線の半に等しくABの中を認め之を半徑としAを中心として圓を画せばBFにCに於て觸切まべし而してAABに垂直にCよりCDを画されむDに於てABを二分分まべし而してDを求むる所の一点あり

(證) (1) (2) 先告知ある故に (3) して亦 (4) の如く (5) (6) あり故に (7) (8) (9) あり (10) あり故に (11) あり

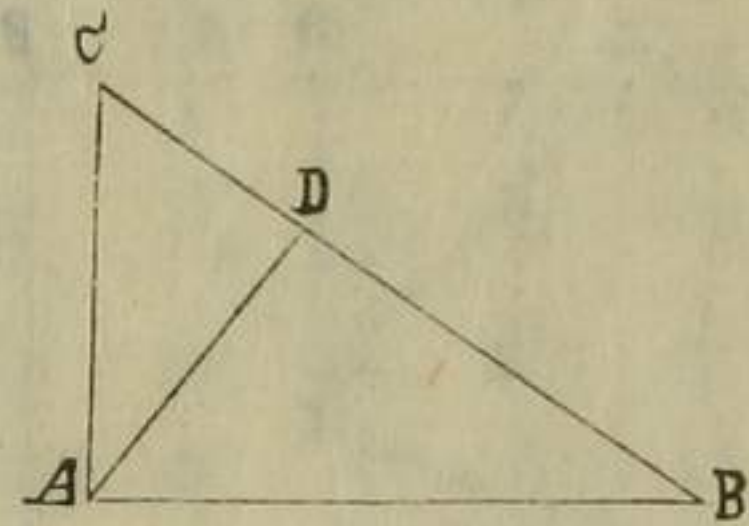


- BC = AA' (1)
- AA' = AC (2)
- AC = BC (3)
- ∠ACB = R (4)
- ∠ACD = ∠BCD = 1/2 R (5)
- ∠ABC = 1/2 R (6)
- BD = DC (7)
- BC = AD (8)
- AD = BD (9)
- AC² = AD² + DC² (10)
- AA'² = AD² + BD² = 2 · AD² (11)

第三 若し定方の一邊定直線を以て一邊としたる方形の對角線の半より小ある時本題を成立難きあり
如何とあれば前條の方法に於て画したる圓周がBFに交る能はば亦觸切まざる能はざるあり然る時本

題の成し能はざる事明らあり

〔七〕 直角三角ABCの頂角Aより底に迄垂線ADを引く時各BC, BD, BC, CD, BD, CD各の矩形もAB, AC, AD各の上の方ふ夫々ふ等き者あり



(1) なる故ふ之を自乗して (2) あり (1.47) ふ因て (3) を

$$\begin{aligned}
BC &= BD + DC & (1) \\
BC^2 &= BD^2 + 2 \cdot BD \cdot DC + DC^2 & (2) \\
BC^2 &= AB^2 + AC^2 & (3) \\
BD^2 + 2 \cdot BD \cdot DC + DC^2 &= AB^2 + AC^2 & (4) \\
2 \cdot BD \cdot DC &= AB^2 - BD^2 + AC^2 - DC^2 & (5) \\
AD^2 &= AB^2 - BD^2 & (6) \\
AD^2 &= AC^2 - DC^2 & (7) \\
2 \cdot BD \cdot DC &= 2 \cdot AD^2 & (8) \\
BD \cdot DC &= AD^2 & (9) \\
BC \cdot BD &= BD^2 + BD \cdot DC & (10) \\
BC \cdot BD &= BD^2 + AD^2 & (11) \\
AB^2 &= BD^2 + AD^2 & (12) \\
BC \cdot BD &= AB^2 & (13) \\
BC \cdot CD &= AC^2 & (14)
\end{aligned}$$

得 (4) と (5) を得 (1.47) ふ因て (6) なる故 (5) を變 (8) と

ある二除して (9) あり (1) ふBDを乗 (10) 變して (11) あり

(1.47) 因て (12) なる故ふ (13) を變 (13) を得る此理ふ因て

(14) を得依て直角三角ABCの頂角云云

〔八〕 AOBを大半圓の中徑Oを中心とて此半徑AO上ふ

小半圓を画きAO中のさより垂線を画せれをEふ

於て大圓周を切る此点とABの端Aとを結合せれ

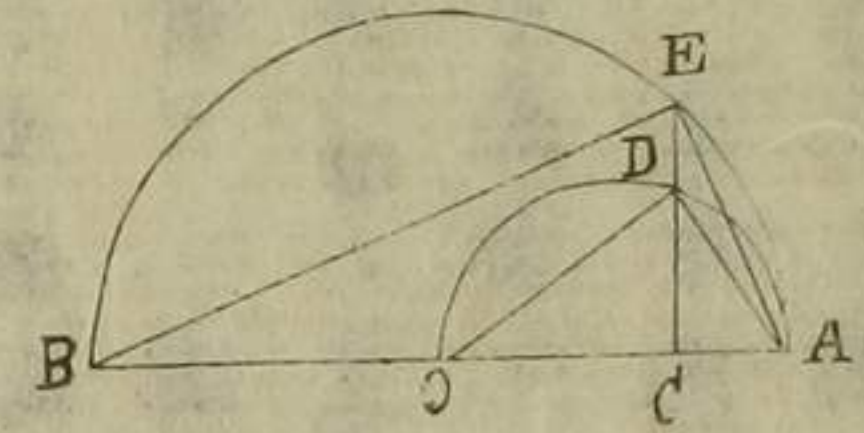
をAEの上の方者CEの小圓周を切りたる点DとA

を結合したるADの上の方の二倍ふ等きあり

證 (1) 先知よして (7) ふ因て (2) を得る變して (3) あり

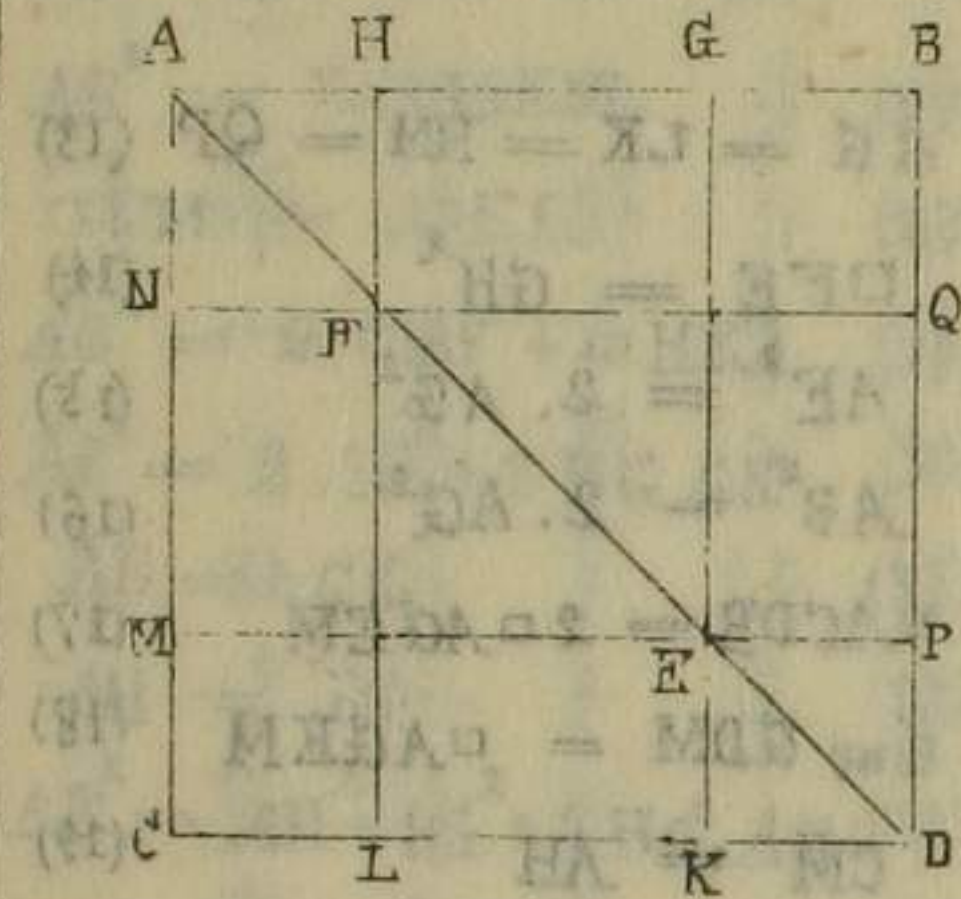
亦 (7) ふ因て (4) を得 (8) を變して (5) あり依て若大圓

の半徑上云



$$\begin{aligned} AB &= 2 \cdot AO & (1) \\ AE^2 &= AB \cdot AC & (2) \\ AE^2 &= 2 \cdot AO \cdot AC & (3) \\ AD^2 &= AO \cdot AC & (4) \\ AE^2 &= 2 \cdot AD^2 & (5) \end{aligned}$$

〔九〕 第一 AB を定直線し命し此両端より中央に向
て等き距離し二点を取て三直線し分つ其中央
る分線上の方を両端の分線上の方の和し等く
るを求む
AB 上し ACDB あり正方形を画し AD を結合し AD 中 AB 等



$$\begin{aligned} AB &= AC = CD = BD & (1) \\ AE &= AB & (2) \\ DF &= AB & (3) \\ DE &= AF & (4) \\ AH &= NF & (5) \\ AN &= NF & (6) \\ AH &= AN & (7) \\ GB &= BQ & (8) \\ KD &= DP & (9) \\ CL &= CM & (10) \\ \square AP &= \square GQ = \square LM & (11) \\ &= \square KP & \\ AH^2 &= BG^2 = CL^2 = DK^2 & (12) \end{aligned}$$

き AE を取り又 DA 中し AB 等しき DF を取る而し E
F 通し AC 平行し GEK HEL あり二線を画し G H
し於て AB 會し K L 於て CD 會せしむ尚亦 E F
を通し AC 平行し MEP NFQ あり二線を画し M N 於

第二 (25) (20) (15) 故
 AB² = 2□AGEM (27) を得 (15) を得 小
 □FM = □EL (28) 之 (15) を得 小
 AB² = 2(□AF + □HK) (29) 之 (15) を得 小
 AB² = 2AH + 2HG.GK (30) 之 (15) を得 小
 AB = AK (31) 之 (15) を得 小
 AH = BG (32) 之 (15) を得 小
 AB² = AH² + BG² + 2HG.AB (33) 之 (15) を得 小

第二 (25) (20) (15) 故
 AB 全線 (25) を得 (15) を得 小
 上の方 (20) を得 (15) を得 小
 方 (15) を得 (15) を得 小
 兩端 (15) を得 (15) を得 小
 の分線 (15) を得 (15) を得 小
 AH (15) を得 (15) を得 小
 BG (15) を得 (15) を得 小
 上 (15) を得 (15) を得 小
 方 (15) を得 (15) を得 小
 和 (15) を得 (15) を得 小

と尚 AB (15) を得 (15) を得 小
 HG (15) を得 (15) を得 小
 の矩形 (15) を得 (15) を得 小
 二段 (15) を得 (15) を得 小
 を集 (15) を得 (15) を得 小
 る (15) を得 (15) を得 小

者 (15) を得 (15) を得 小
 等 (15) を得 (15) を得 小
 (16) を得 (15) を得 小
 (27) を得 (15) を得 小
 (28) の (15) を得 (15) を得 小
 (29) を得 (15) を得 小
 (33) を得 (15) を得 小

依 (15) を得 (15) を得 小
 て (15) を得 (15) を得 小
 兩直線 (15) を得 (15) を得 小
 の (15) を得 (15) を得 小
 兩端 (15) を得 (15) を得 小
 より (15) を得 (15) を得 小
 中 (15) を得 (15) を得 小

端 (15) を得 (15) を得 小
 分線 (15) を得 (15) を得 小
 AH (15) を得 (15) を得 小
 GB (15) を得 (15) を得 小
 上 (15) を得 (15) を得 小
 方 (15) を得 (15) を得 小
 和 (15) を得 (15) を得 小
 即 (15) を得 (15) を得 小
 ち (15) を得 (15) を得 小
 AH² (15) を得 (15) を得 小
 GB² (15) を得 (15) を得 小
 の (15) を得 (15) を得 小
 和 (15) を得 (15) を得 小
 小 (15) を得 (15) を得 小
 等 (15) を得 (15) を得 小
 き (15) を得 (15) を得 小
 距離 (15) を得 (15) を得 小
 小 (15) を得 (15) を得 小
 而 (15) を得 (15) を得 小
 して (15) を得 (15) を得 小
 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15)

直線 (15) を得 (15) を得 小
 圖 (15) を得 (15) を得 小
 各 (15) を得 (15) を得 小
 角 (15) を得 (15) を得 小
 直 (15) を得 (15) を得 小
 小 (15) を得 (15) を得 小
 因 (15) を得 (15) を得 小
 て (15) を得 (15) を得 小
 (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15)

同 (15) を得 (15) を得 小
 理 (15) を得 (15) を得 小
 小 (15) を得 (15) を得 小
 因 (15) を得 (15) を得 小
 て (15) を得 (15) を得 小
 (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15)

AD (15) を得 (15) を得 小
 の (15) を得 (15) を得 小
 徑 (15) を得 (15) を得 小
 小 (15) を得 (15) を得 小
 着 (15) を得 (15) を得 小
 故 (15) を得 (15) を得 小

HG = LK = HM = QP (13)
 □FE = GH² (14)
 AE² = 2.AG² (15)
 AB² = 2.AG² (16)
 □ACDB = 2□AGEM (17)
 Gno GDM = □AGEM (18)
 CM = AH (19)
 CK = AM (20)
 CM.CK = AH.AM (21)
 □MK = □HM (22)
 □QE = □FG (23)
 Gno GDM - □MK - □QE } (24)
 = □AGEM - □HM - □FG } (25)
 □GQ - □KP = □EF (25)
 AH² - BG² = GH² (26)

端 (15) を得 (15) を得 小
 G (15) を得 (15) を得 小
 H (15) を得 (15) を得 小
 兩 (15) を得 (15) を得 小
 端 (15) を得 (15) を得 小
 より (15) を得 (15) を得 小
 等 (15) を得 (15) を得 小

BD (15) を得 (15) を得 小
 小 (15) を得 (15) を得 小
 會 (15) を得 (15) を得 小
 せ (15) を得 (15) を得 小

Q (15) を得 (15) を得 小
 小 (15) を得 (15) を得 小
 於 (15) を得 (15) を得 小
 て (15) を得 (15) を得 小

AC (15) を得 (15) を得 小
 小 (15) を得 (15) を得 小
 P (15) を得 (15) を得 小

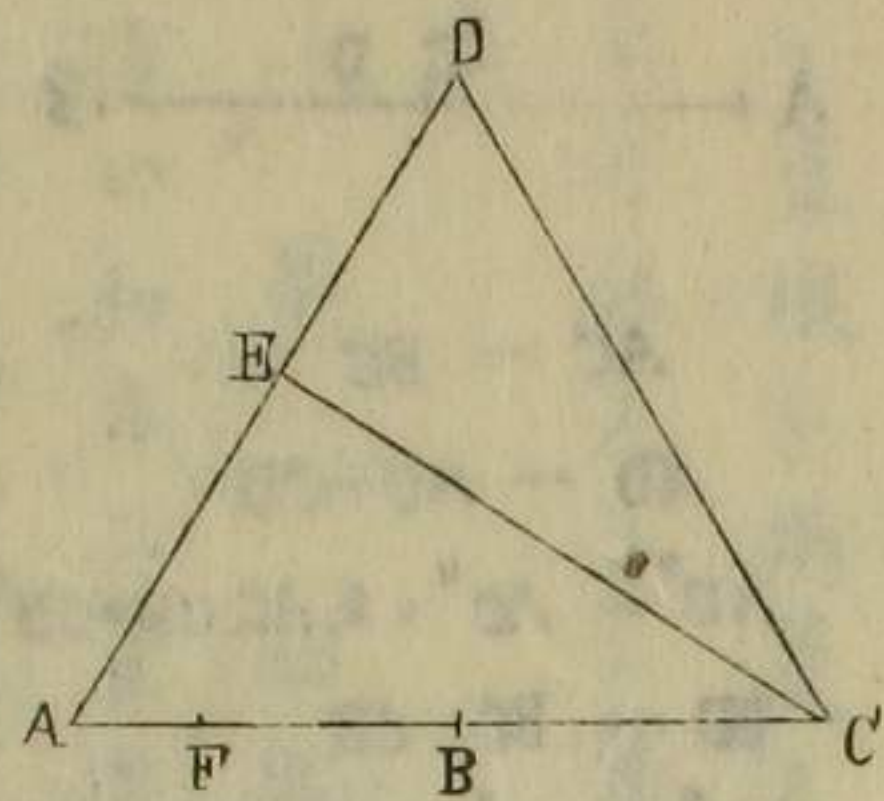
幾何學原礎卷三 例題解

夾云云

正 第一 ABを定直線と命し之を兩分し其全線ABの上の方と一分線上の方の和を他の分線上の方二倍と等しうするを求む

ABをじまて引長しBCをしてABと等しからしむ而してACの上の之を一邊として等邊三角ACDを画しADに垂直しCEを画してEは於てADに會せしむCよりCEの長さしCA上しCFを取るFは即ち求むる所の一点あり

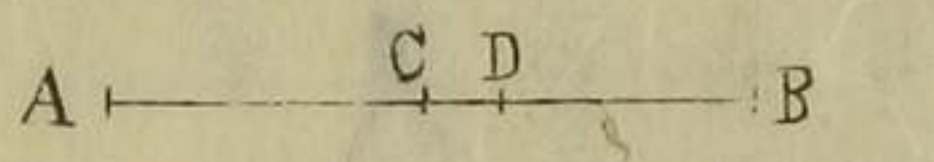
(證) (1) (2) (3) (4)の如く定め補五し因て(5)を得(2.9)し因て(6)を得る之を變して(7)亦(8)を得るあり



$$\begin{aligned}
 AB &= BC & (1) \\
 AC &= 2 \cdot AB & (2) \\
 AC &= AD = CD & (3) \\
 CE &= CF & (4) \\
 CE^2 &= \frac{3}{4} AC^2 = 3 \cdot AB^2 & (5) \\
 CF^2 + FA^2 &= 2 \cdot BC^2 + 2 \cdot BF^2 & (6) \\
 3 \cdot AB^2 + FA^2 &= 2 \cdot AB^2 + 2 \cdot BF^2 & (7) \\
 AB^2 + FA^2 &= 2 \cdot BF^2 & (8) \\
 AB^2 + FA^2 &= 2 \cdot AB \cdot AF + BF^2 & (9) \\
 2 \cdot BF^2 &= 2 \cdot AB \cdot AF + BF^2 & (10) \\
 BF^2 &= 2 \cdot AB \cdot AF & (11)
 \end{aligned}$$

第二 大ある分線BF上の方を全線ABと小ある分線AFと因て成る矩形二倍と等しきあり
 [證] (2.7)し因て(9)を得る(8)し因て(10)を得故し(11)あり
 依て定直線を兩隻とあり云云

〔十二〕 ABを定直線ニ命一之を兩分一其各分線上の
方の和を最小あらしめん事を求む
ABをC小於て二等分れをAC, BCの上の方の和を以
て最小ある者とな



$$AC = BC \quad (1)$$

$$AD = AC + CD \quad (2)$$

$$AD^2 = AC^2 + 2 \cdot AC \cdot CD + CD^2 \quad (3)$$

$$BD = BC - CD \quad (4)$$

$$BD^2 = BC^2 - 2 \cdot BC \cdot CD + CD^2 \quad (5)$$

$$BD^2 = AC^2 - 2 \cdot AC \cdot CD + CD^2 \quad (6)$$

$$AD^2 + BD^2 = 2 \cdot AC^2 + 2 \cdot CD^2 \quad (7)$$

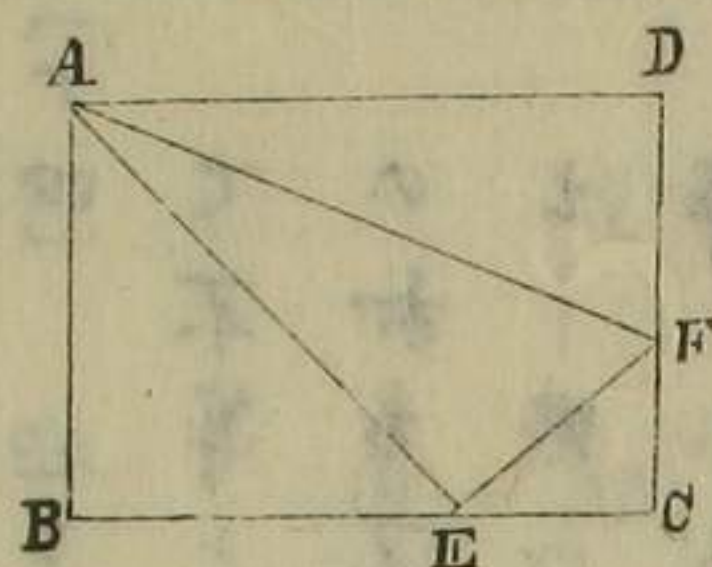
得是み於てCDを最小ある者とせしむる時D点ABの等

〔證〕 (1)の如く定め而し
てAB線中D小於て分つ
者とせれむ(2)ある故み
自乘して(3)ある故み
自乘して(5)あり變して
(6)故み(3)(6)相併て(7)を

分点あるC小相合しAD, BDを共小AC小等しきを知る
依て直線を兩隻とあし其各分線上の方の和を最小
あらしめん小ハ等分せし線の上の方の和を以て可
あり

〔十二〕 第一 AB, BCを二直線小命一此二線各の上の
方の和を二直線小因て成る矩形二倍より決して
小あらざるべし

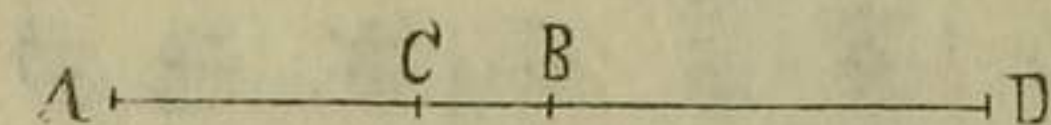
〔證〕 (2)小因て(1)を得る故み二直線の上の方の和を
二直線の矩形二倍より二直線の差丈け大ある事明
らあり依て(2)の如し
第二 二直線の上の方の差を二直線の和と差の矩



形を加ふる者小等事を詳解せ

- (1) $AB = CD$
- (2) $AD = BC$
- (3) $\triangle ABE = \frac{1}{2} AB \cdot BE$
- (4) $\triangle ADF = \frac{1}{2} AD \cdot DF$
- (5) $\triangle ECF = \frac{1}{2} EC \cdot CF$
- (6) $\square ABCD = \triangle AEF + \triangle ABE + \triangle ADF + \triangle ECF$
- (7) $\square ABCD = \triangle AEF + \frac{1}{2} (DC \cdot BE + BC \cdot DF + EC \cdot CF)$
- (8) $DC = DF + CF$
- (9) $DF = DC - CF$
- (10) $EC = BC - BE$
- (11) $\square ABCD = \triangle AEF + \frac{1}{2} (DF \cdot BE + CF \cdot BE + BC \cdot DC - BC \cdot CF + BC \cdot CF - BE \cdot CF)$
- (12) $\square ABCD = \triangle AEF + \frac{1}{2} (DF \cdot BE + BC \cdot DC)$
- (13) $2\square ABCD = 2\triangle AEF + DF \cdot BE + \square ABCD$
- (14) $\square ABCD = 2\triangle AEF + DF \cdot BE$

十三 二直線各の上の方の和云云
 設る時ある ABCD 矩形の形 BC 中点 E を設け CD 中点 F を設け BE DF の矩



- (1) $AB^2 + BC^2 = 2 \cdot AB \cdot BC + AC^2$
- (2) $AB^2 + BC^2 > 2 \cdot AB \cdot BC$
- (3) $AB = BD$
- (4) $DC \cdot CA + BC^2 = AB^2$
- (5) $AB^2 - BC^2 = DC \cdot CA$
- (6) $DC = AB + BC$
- (7) $CA = AB - BC$
- (8) $DC \cdot CA = (AB + BC)(AB - BC)$
- (9) $AB^2 - BC^2 = (AB + BC)(AB - BC)$

變を 3 圖得め (證)
 得る故 2 3 (2.5)
 (9) 3 故相乗て 因ふ (3)
 あり故 1 (6) (5) 因て 如く
 依 (5) て (7) あり (4)
 て を (8) あり を 定

形小等事

幾何學原典卷二 問題解

〔證〕

AE, AF, EF を結合せ (1) (2) (3) (4) (5) を先知と (6) あり

故より (7) とある (8) (9) (10) あり故より (11) を變へ (12) とある

り (13) を得 (14) の如く依て ABCD の矩形の BC 中云云

〔十四〕 AB を直線と之を C 分て等分し亦 D 分て

て不等とす其不等分ある AD, DB あり各線上の方

の和も不等分ある AD, DB 分て成る矩形二倍と分

ちし點の間ある CD 線上の方の四倍を加ふる者も

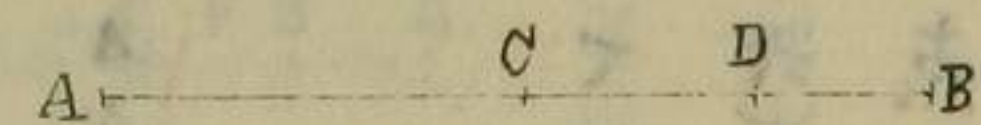
等しかるべし

〔證〕

(1) あり故より自乗して (2) あり (3) あり故より (4) とし

如く依て直線を等分し云云 (5) 分て (6) とし (7) 分て (8) を得る故より (8) の

如く依て直線を等分し云云



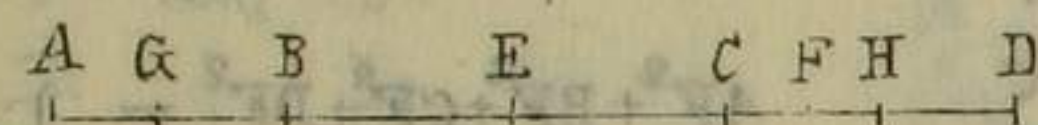
$$\begin{aligned}
 (1) \quad AB &= AD + DB \\
 (2) \quad AB^2 &= AD^2 + DB^2 + 2 \cdot AD \cdot DB \\
 (3) \quad AB &= 2 \cdot AC \\
 (4) \quad 4 \cdot AC^2 &= AD^2 + DB^2 + 2 \cdot AD \cdot DB \\
 (5) \quad AD^2 + DB^2 &= 2 \cdot AC^2 - 2 \cdot CD^2 \\
 (6) \quad 4 \cdot AC^2 &= 2 \cdot AD^2 + 2 \cdot DB^2 - 4 \cdot CD^2 \\
 (7) \quad AD^2 + DB^2 + 2 \cdot AD \cdot DB &= 2 \cdot AD^2 + 2 \cdot DB^2 - 4 \cdot CD^2 \\
 (8) \quad AD^2 + DB^2 &= 2 \cdot AD \cdot DB + 4 \cdot CD^2
 \end{aligned}$$

〔十五〕

ABC を二等邊三角し命し AB, AC を等邊とす底角

の一端 B より等邊 AC へ垂線 BD を画する時 D 分

於て AC を分割し底邊 BC と垂線 BD の間ある分線 CD

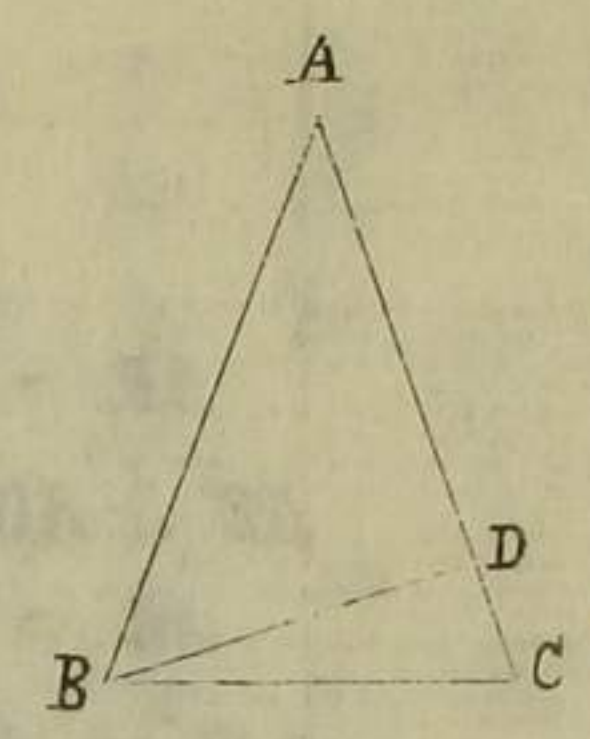


$$\begin{aligned}
 &AG = GB \quad (1) \\
 &CH = HD \quad (2) \\
 &GE = EH \quad (3) \\
 &AF^2 = AG^2 + GF^2 + 2 \cdot AG \cdot GF \quad (4) \\
 &BF^2 = BE^2 + EF^2 + 2 \cdot BE \cdot EF \quad (5) \\
 &CF^2 = CE^2 + EF^2 - 2 \cdot CE \cdot EF \quad (6) \\
 &DF^2 = DE^2 + EF^2 - 2 \cdot DE \cdot EF \quad (7) \\
 &AF^2 + BF^2 + CF^2 + DF^2 = AG^2 + GF^2 + 2 \cdot AG \cdot GF + BE^2 + EF^2 + 2 \cdot BE \cdot EF + CE^2 + EF^2 - 2 \cdot CE \cdot EF + DE^2 + EF^2 - 2 \cdot DE \cdot EF \quad (8) \\
 &AF^2 + BF^2 + CF^2 + DF^2 = AE^2 + BE^2 + CE^2 + DE^2 + 4 \cdot EF^2 + 2 \cdot EF \cdot (AG + BE - CE - DE) \quad (9) \\
 &GE = GB + BE \quad (10) \\
 &GE = AG + BE \quad (11) \\
 &2 \cdot GE = GB + AG + 2 \cdot BE \quad (12) \\
 &AE = AG + GB + BE \quad (13) \\
 &2 \cdot GE = AE + BE \quad (14) \\
 &2 \cdot HE = CE + DE \quad (15) \\
 &AF^2 + BF^2 + CF^2 + DF^2 = AE^2 + BE^2 + CE^2 + DE^2 + 4 \cdot EF^2 + 2 \cdot EF \cdot (2 \cdot GE - 2 \cdot HE) \quad (16)
 \end{aligned}$$

然らば AF, BF, CF, DF 各の上の方の和を AE, BE, CE, DE 各の上の方の和より大なる事 EF の上の方の四倍なるべし

於て云

〔十六〕 A, D を一直線の両端とし其中小隨意に B, C 点を取り AB, CD の中央に G, H 点を認め此二点より等距離に E 点を設け又假り小 CD 中小 F 点を設く



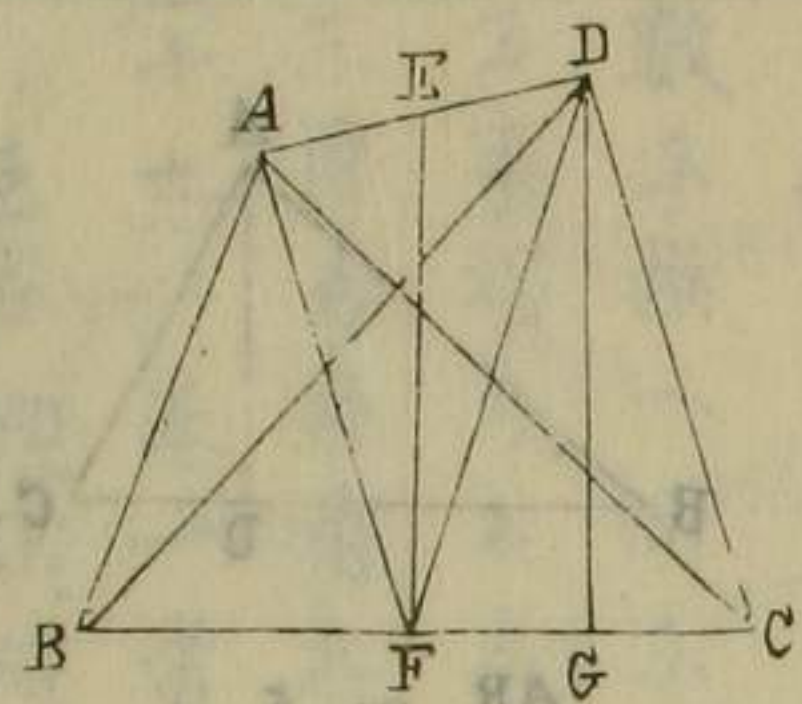
$$\begin{aligned}
 &AB = BC \quad (1) \\
 &AC^2 - BC^2 = 2 \cdot AC \cdot CD + AB^2 \quad (2) \\
 &BC^2 = 2 \cdot AC \cdot CD \quad (3) \\
 &AC \cdot CD = \frac{1}{2} BC^2 \quad (4)
 \end{aligned}$$

(證) (1) 先知し (2) を得る即ち (3) あり之を二分して (4) を得る依て二等邊三角小

と等邊 AC 小因て成る矩形を底邊 BC 上の方の半あり

幾何學原典卷二何題解

(5) あり (2) 小因て之を變へ (6) あり之を (3) の二倍あり
 減して (7) を得る同方法小因て (8) を得相併せて (9) あり
 二除して (10) (11) の如し又 (7) を得る如き方法小因て



$$\begin{aligned}
 (1) \quad & AF = ED = \frac{1}{2}AD \\
 (2) \quad & BF = FC = \frac{1}{2}BC \\
 (3) \quad & BC^2 + CD^2 = 2 \cdot BC \cdot CG + BD^2 \\
 (4) \quad & CF^2 + CD^2 = 2 \cdot CF \cdot CG + FD^2 \\
 (5) \quad & 4 \cdot CF^2 + 4 \cdot CD^2 = 8 \cdot CF \cdot CG + 4 \cdot FD^2 \\
 (6) \quad & BC^2 + 4 \cdot CD^2 = 4 \cdot BC \cdot CG + 4 \cdot FD^2 \\
 (7) \quad & BC^2 - 2 \cdot CD^2 = 2 \cdot BD^2 - 4 \cdot FD^2 \\
 (8) \quad & BC^2 - 2 \cdot AB^2 = 2 \cdot AC^2 - 4 \cdot AF^2 \\
 (9) \quad & \left. \begin{aligned} 2 \cdot BC^2 - 2 \cdot CD^2 - 2 \cdot AB^2 - 2 \cdot BD^2 - 2 \cdot AC^2 \\ - 4 \cdot FD^2 - 4 \cdot AF^2 \end{aligned} \right\} \\
 (10) \quad & BC^2 - CD^2 - AB^2 = BD^2 + AC^2 - 2 \cdot FD^2 - 2 \cdot AF^2 \\
 (11) \quad & BC^2 + 2 \cdot FD^2 + 2 \cdot AF^2 = AB^2 + CD^2 + BD^2 + AC^2 \\
 (12) \quad & AD^2 - 2 \cdot AF^2 = 2 \cdot FD^2 - 4 \cdot EF^2 \\
 (13) \quad & 4 \cdot EF^2 + AD^2 = 2 \cdot FD^2 + 2 \cdot AF^2 \\
 (14) \quad & 4 \cdot EF^2 + AD^2 + BC^2 = BC^2 + 2 \cdot FD^2 + 2 \cdot AF^2 \\
 (15) \quad & AB^2 + CD^2 + BD^2 + AC^2 = 4 \cdot EF^2 + AD^2 + BC^2
 \end{aligned}$$

(證) 垂線 DG を画き進む (2.13) 小因て (3) (4) を得 (4) を四倍して

和 小等き事を詳解すべし

〔十七〕

四邊圖の ABCD の相對する邊 AD, BC を E, F 点小於
 て等分する時多 AB², DC², AC², BD² の和多 EF² 四倍と BC, AD の

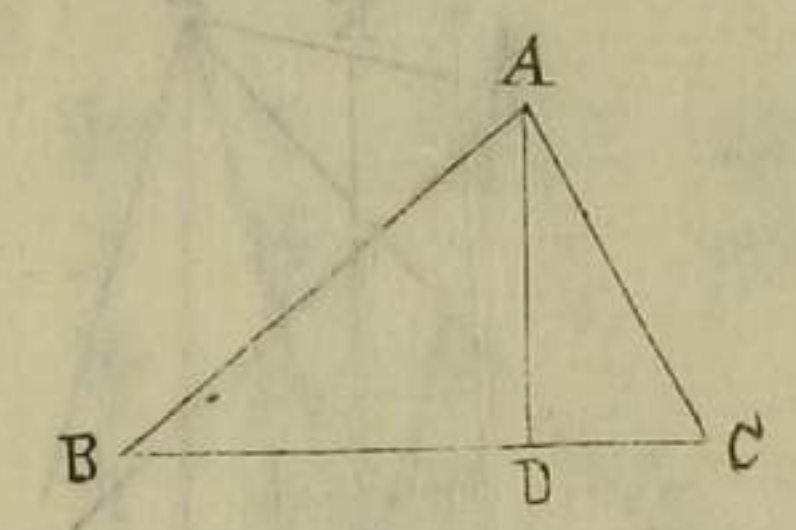
$$\left. \begin{aligned} AF^2 + BF^2 + CF^2 + DF^2 = \\ AE^2 + BE^2 + CE^2 + DE^2 + 4 \cdot EF^2 \end{aligned} \right\} (17)$$

B, C, D 云

あり (3) 小因て (17) とある依て一直線中 A.
 3 同理小因て (15) を得以て (9) を變へて (16)
 (10) (11) 小因て (12) を得る (13) あり故小 (14) を得
 (2.7) 小因て (6) (7) を得相併せて (8) 又 (9) あり
 (證) (1) (2) 小因て (6) (7) を得相併せて (2.4) 小因て (4) (5)

幾何學原序卷二 鈍角三角

(12)を得(13)と一此兩邊小 BC^2 を加へ(14)を得る(11)小因て
 (15)を得る依て四邊圖の $ABCD$ の相對せる云云
 [十八] 三角の各邊二、四、五の如くある時を鈍角三角
 歟或は鈍角歟を詳明せよ

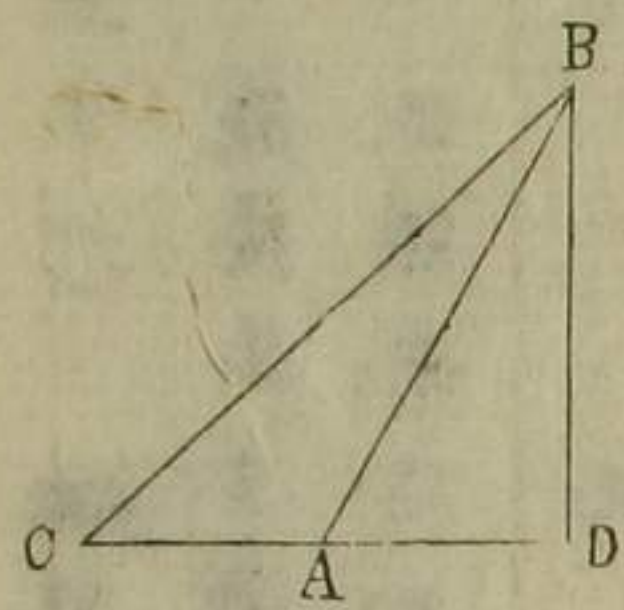


小換へ(3)(4)(5)とあり因て(6)を得る故小 BD 者 BC より

$$\begin{aligned}
 AB &= 5 \\
 BC &= 4 \\
 AC &= 2 \quad (1) \\
 AB^2 &= 2 \cdot BC \cdot BD + AC^2 - BC^2 \quad (2) \\
 25 &= 2 \cdot 4 \cdot BD + 4 - 16 \quad (3) \\
 25 &= 8 \cdot BD - 12 \quad (4) \\
 37 &= 8 \cdot BD \quad (5) \\
 BD &= \frac{37}{8} = 4 \frac{5}{8} \quad (6) \\
 AB^2 &= BC^2 + AC^2 \quad (7) \\
 25 &= 16 + 4 \quad (8) \\
 25 &> 20 \quad (9)
 \end{aligned}$$

(證) (1)の
 如く定め
 鈍角三角
 と見做し
 (2)(13)小
 因て(2)を得
 数

大よして本題小及を依て鈍角三角あらざる事明らか
 うかり又直角三角と見る時を(14)小因て(7)ある故小
 數小換へ(8)小して(9)の如し故小又直角三角あらざ
 る事明らかあり然らむ即ち二、四、五ある各邊を有つ
 三角者鈍角三角ある事明らかあり
 [十九] 卷一考定第四十七圖を用ひ FD 、 GH 、 KE を結合せ
 ば FD 、 KE 、 EG 、 GH 、 HK 、 DE 各の上の方の和を BC 弦上の方
 の八倍あり
 (證) (1)(2)(3)よして(4)ある故(5)の如し因て(6)を得る
 又(7)ある故小(8)あり(9)ある故小(10)あり(2)(12)小因て(11)
 を得る之を變して(12)とあり(2)(12)小因て(13)を得る故小



$$\angle BAC = \frac{4}{3} \angle R \quad (1)$$

$$\angle BAD = \frac{2}{3} \angle R \quad (2)$$

$$AD = \frac{1}{2} AB \quad (3)$$

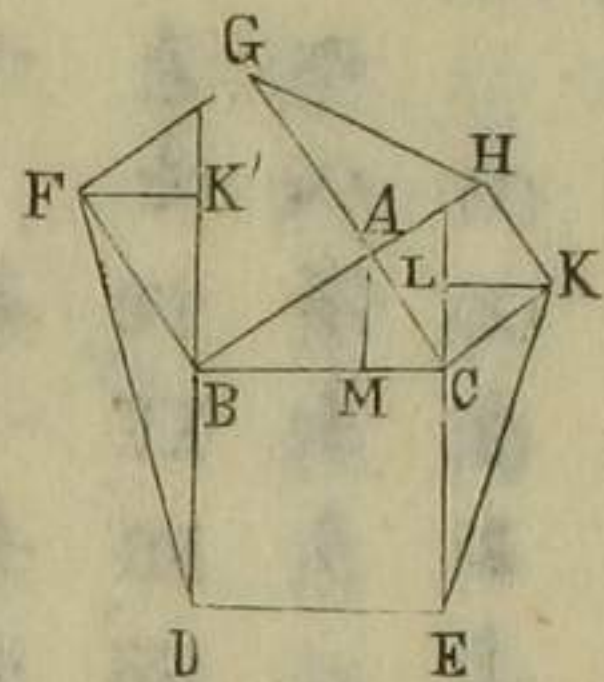
$$BC^2 = AB^2 + AC^2 + 2AC \cdot AD \quad (4)$$

$$BC^2 = AB^2 + AC^2 + AB \cdot AC \quad (5)$$

(證) 因て (1) 者先知不
 不垂線BDを引長部
 不の如し故不
 因て (2) (3) (4) を得之を變
 十六

三十) ABCを三角不命し此一角Aをして直角の三分
 四ある時此角不對する邊BCの上の方此角を
 狭むAB、AC各邊上の方と尚此二邊不因て成る矩形
 の和不等きなり

$$\left. \begin{aligned} FD^2 + KE^2 + FG^2 + GH^2 + \\ HK^2 + DE^2 &= AB^2 + \\ &BC^2 + 2BC \cdot BM + AC^2 + \\ &BC^2 + 2BC \cdot CM + AB^2 + \\ &BC^2 + AC^2 + BC^2 = \\ &2AB^2 + 4BC^2 + 2BC(BM + CM) \end{aligned} \right\} (14)$$



$$AB^2 + AC^2 = BC^2 \quad (15)$$

$$BC = BM + CM \quad (16)$$

$$\left. \begin{aligned} FD^2 + KE^2 + FG^2 + GH^2 + \\ HK^2 + DE^2 &= 4BC^2 + \\ &2(AB^2 + AC^2) + 2BC(BM + CM) \\ &= 4BC^2 + 2BC^2 + 2BC^2 \\ &= 8BC^2 \end{aligned} \right\} (17)$$

$$BC = BD = DE \quad (1)$$

$$AB = BF = FG \quad (2)$$

$$AC = CK = HK \quad (3)$$

$$\angle AMB = \angle BK'F = \angle R \quad (4)$$

$$\triangle FBK' = \triangle ABM \quad (5)$$

$$BK' = BM \quad (6)$$

$$\triangle AGH = \triangle ABC \quad (7)$$

$$BC = GH \quad (8)$$

$$\triangle KCL = \triangle ACM \quad (9)$$

$$CL = CM \quad (10)$$

$$FD^2 = BF^2 + BD^2 + 2BD \cdot BK' \quad (11)$$

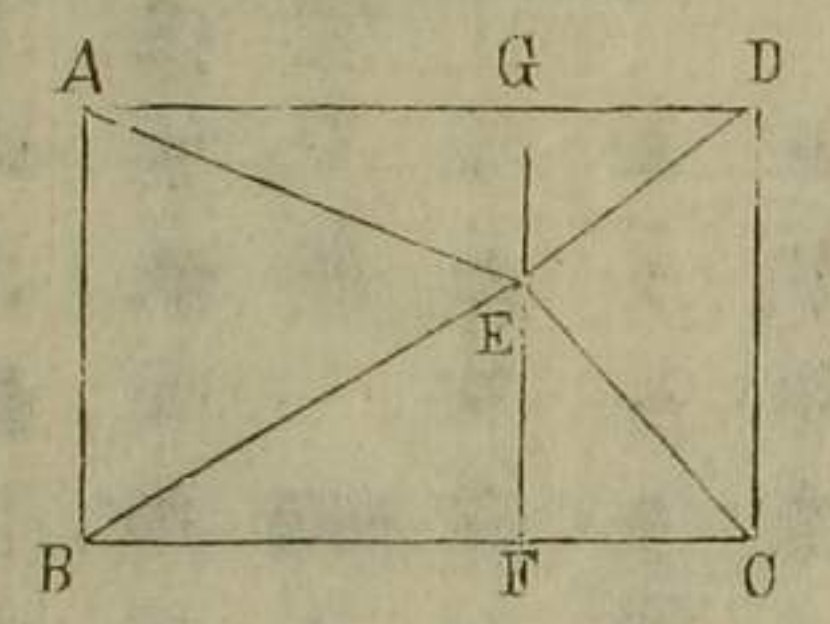
$$FD^2 = AB^2 + BC^2 + 2BC \cdot BM \quad (12)$$

$$KE^2 = AC^2 + BC^2 + 2BC \cdot CM \quad (13)$$

本題を證明せ (17) 故に (14) を得る依て (15) (16) (17) 故に (14) を得る依て

幾何學原序卷三 何題解

(1)
(2)
(3) の如く

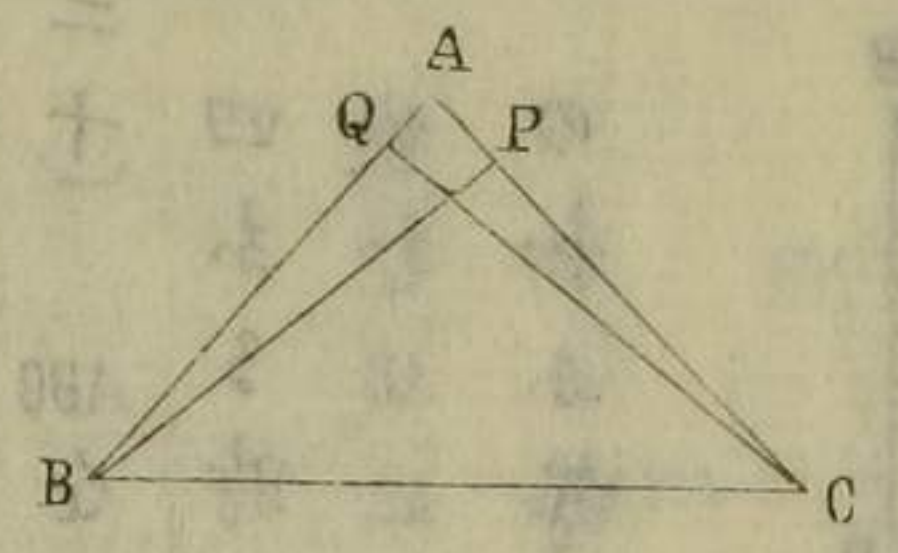


(1.47) 不 因 て (4) を得相併せて FC を變

$$\begin{aligned}
 (1) \quad AB &= GF \\
 (2) \quad AG &= BF \\
 (3) \quad GD &= FC \\
 (4) \quad AE^2 &= AG^2 + EG^2 \\
 (5) \quad EC^2 &= EF^2 + FC^2 \\
 (6) \quad AE^2 + EC^2 &= AG^2 + EG^2 + EF^2 + FC^2 \\
 (7) \quad BD^2 &= BF^2 + EF^2 \\
 (8) \quad ED^2 &= EG^2 + GD^2 \\
 (9) \quad BE^2 + ED^2 &= AG^2 + EF^2 + EG^2 + GD^2 \\
 (10) \quad AE^2 + EC^2 &= BE^2 + ED^2
 \end{aligned}$$

ある故に GF を画し 不平行な 通して AB 小 (證) E 小

三十二 ABCD を矩形不命 E を形内の一点とて此点より凡ての角点 A, B, C, D 不直線を引く時其相對せる角不引たる二線 AE, EC の上の方の和が BE, ED の上の方の和に等しかるを



$$\begin{aligned}
 (1) \quad AC^2 &= BC^2 + AB^2 - 2 \cdot AB \cdot BQ \\
 (2) \quad AB^2 &= BC^2 + AC^2 - 2 \cdot AC \cdot CP \\
 (3) \quad AC^2 + AB^2 &= BC^2 + AB^2 - 2 \cdot AB \cdot BQ + BC^2 + AC^2 - 2 \cdot AC \cdot CP \\
 (4) \quad 2 \cdot BC^2 &= 2 \cdot AB \cdot BQ + 2 \cdot AC \cdot CP \\
 (5) \quad BC^2 &= AB \cdot BQ + AC \cdot CP
 \end{aligned}$$

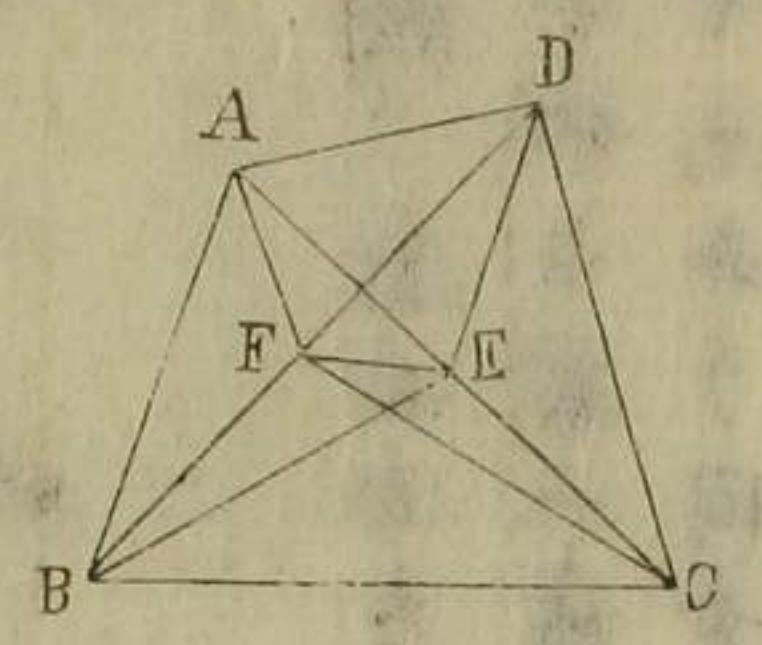
云 ABC して (5) を得る依て (證) 不 因 て (1) (2) を得相併して (3) あり因て (4) を得二分

して (5) を得る依て三角の一角若直角云云 三十二 ABC の三角不於て BP, CQ を AC, AB へ垂線不引若鈍角ある時其邊を引延せ時其 BC 上の方角 AB, BQ の矩形と AC, CP 矩形の和に等しかるべし

(6) あり又 (147) 不因て (7) (8) を得相併せて BF を變へ (9) あり之不依て (6) (9) の右邊を視る不相同しき故不 (10) を得る依て矩形内不隨意の一点云云

三十三 ABCD を四邊圖不命し AB, BD を斜線とせよ各の上の方の和を AB, BC, CD, DA の四邊各の上の方の和より少き事 AC, BD の中央点 E, F を結合せる EF 線上の方四倍あり

(證) AC, BD の中央点 E, F を取り AF, CF, BE, DE, EF 各を結合せよ (1) (2) 不して (用法第四) 不因て (3) (4) を得る相併せて (5) あり又 (用法第四) 不因て (6) あり故不 (5) を變へて (7) を得る (8) (9) あり故不 (7) を變へて (10) を得る依て

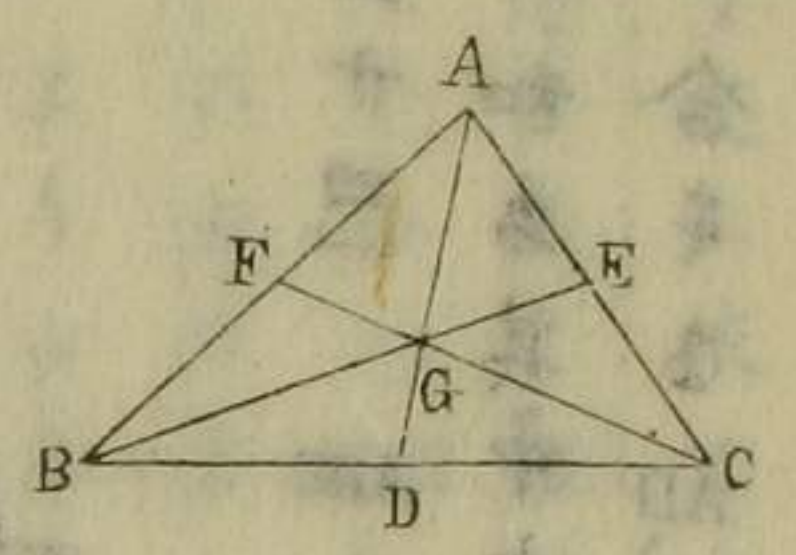


$$\begin{aligned}
 AE &= EC & (1) \\
 BF &= FD & (2) \\
 AB^2 + BC^2 &= 2.AE^2 + 2.BE^2 & (3) \\
 DC^2 + DA^2 &= 2.AE^2 + 2.DE^2 & (4) \\
 AB^2 + BC^2 + DC^2 + DA^2 &= 4.AE^2 + 2.BE^2 + 2.DE^2 & (5) \\
 BE^2 + ED^2 &= 2.BF^2 + 2.EF^2 & (6) \\
 AB^2 + BC^2 + CD^2 + DA^2 &= 4.AE^2 + 4.BF^2 + 4.EF^2 & (7) \\
 AC &= 2.AE & (8) \\
 BD &= 2.BF & (9) \\
 AB^2 + BC^2 + CD^2 + DA^2 &= AC^2 + BD^2 + 4.EF^2 & (10)
 \end{aligned}$$

四邊圖の斜線云云

三十四

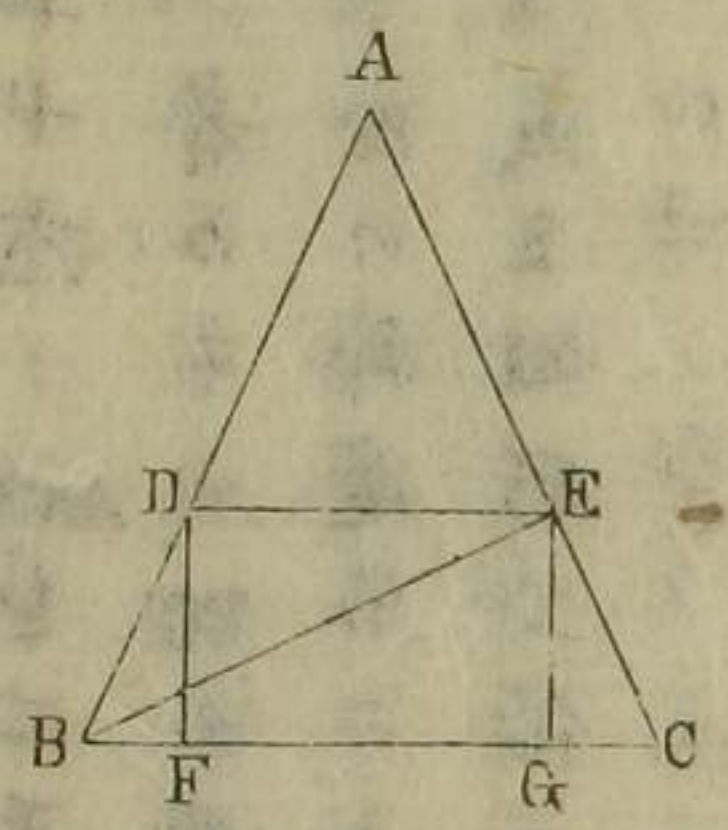
ABC を三角不命し BC, AC, AB の各邊の上の方の和を其中央不設けたる D, E, F 点を各對角点に結合せる AD, BE, CF 線の相會せる一点 G まで即ち AG, BG, CG の上の方の和の三倍に等きあり



$$\begin{aligned}
 BD &= DC & (1) \\
 AF &= FB & (2) \\
 AE &= EC & (3) \\
 AB^2 + AC^2 &= 2 \cdot BD^2 + 2 \cdot AD^2 & (4) \\
 BC &= 2 \cdot BD & (5) \\
 2 \cdot AD &= 3 \cdot AG & (6) \\
 AB^2 + AC^2 &= \frac{1}{2} BC^2 + \frac{9}{2} AG^2 & (7) \\
 AB^2 + BC^2 &= \frac{1}{2} AC^2 + \frac{9}{2} BG^2 & (8) \\
 AC^2 + BC^2 &= \frac{1}{2} AB^2 + \frac{9}{2} CG^2 & (9) \\
 2AB^2 + 2AC^2 + 2BC^2 &= \frac{1}{2} BC^2 + \frac{9}{2} AG^2 & (10) \\
 &+ \frac{1}{2} AC^2 + \frac{9}{2} BG^2 + \frac{1}{2} AB^2 + \frac{9}{2} CG^2 & \\
 3AB^2 + 3AC^2 + 3BC^2 &= 9AG^2 + 9BG^2 + 9CG^2 & (11) \\
 AB^2 + AC^2 + BC^2 &= 3(AG^2 + BG^2 + CG^2) & (12)
 \end{aligned}$$

(證) (1) (2) (3) 先知して用法第四に因て (4) を得
 の如く「卷一補三十九」に因て (6) の如き故に (4) を變
 て (7) あり同方法に因て (8) (9) を得各相併せて (10) あり
 之を二倍して兩邊より同數を減去して (11) を得三除して

て (12) を得る依て三角の各邊上の方の和云々
 三十五 二等邊三角 ABC の底線 BC に平行なる DE を引
 時、BE 上の方、BC、ED の矩形と CE 上の方の和に等
 き者あり



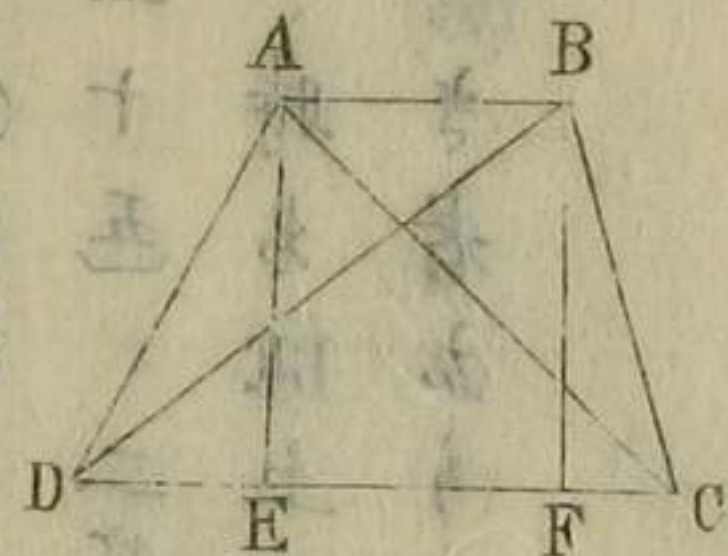
$$\begin{aligned}
 CG &= BF & (1) \\
 BE^2 &= EC^2 + BC^2 - 2 \cdot BC \cdot CG & (2) \\
 DE &= BC - (CG + BF) & (3) \\
 &= BC - 2 \cdot CG & \\
 BE^2 &= EC^2 + BC(BC - 2 \cdot CG) & (4) \\
 &= EC^2 + BC \cdot DE &
 \end{aligned}$$

因て (2) を得る又 (3) あり故に之を變じて (4) を得る依

(證) 如く DE、BC 小、EG、BC 小、垂直
 如く B、E の
 結合を (2.13) 小

て二等邊三角 ABC 云云
三十六 ABCD を二平行四邊形小命し AB、CD を平行せる

者とき AC、BD 対角線小して各の上の方の和と AD
BC の斜邊各の上の方の和と其平行邊 AB、CD 小因て
成る矩形二倍の和小等きあり



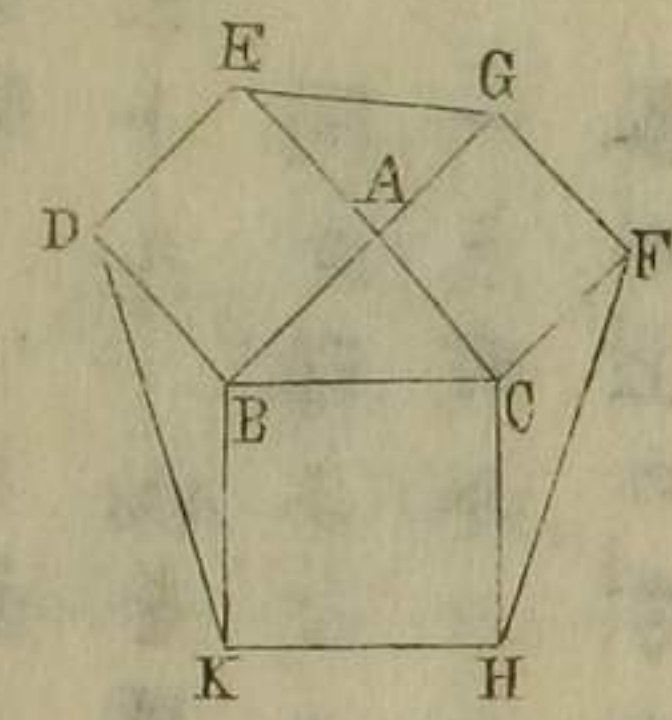
$$\begin{aligned}
 AE &= EF & (1) \\
 AB &= EF & (2) \\
 AC^2 &= AD^2 + CD^2 + 2CD \cdot DE & (3) \\
 BD^2 &= BC^2 + CD^2 - 2CD \cdot CF & (4) \\
 AC^2 + BD^2 &= AD^2 + BC^2 + 2CD^2 - 2CD \cdot DE - 2CD \cdot CF & (5) \\
 AC^2 + BD^2 &= AD^2 + BC^2 + 2CD(CD - DE - CF) & (6) \\
 EF &= CD - DE - CF & (7) \\
 AC^2 + BD^2 &= AD^2 + BC^2 + 2CD \cdot AB & (8)
 \end{aligned}$$

(證) 垂線より A、B
を画し AE、DC 小
を此二線 BE 小
を平行し

且つ AB、DC 平行ある故小 (1) (2) の如し (2.13) 小因て (3) (4)
を得る相併せて (5) 之を括り (6) あり (7) の如き故小 (2)
小因て (6) を變し (8) を得依て二平行邊四邊形云云

三十七 ABC の三角小於て AB、AC 邊上の方形を BD、CE と
為す時 BC、DE 各の上の方の和と AB、AC 各の上の方
の和二倍あり

(證) DE を結合し之小垂線 GAF を画し F 小於て BC 小
會せしむ而して此線小垂線 BH、CK を画すれを (1) あり
故小 (2) あり ADG、ABH 小直角三角小して (3) あり故小 (2) 小
因て (4) (5) を得る又 (6) あり故小 (2.6) 小因て (7) あり故小 (8)
(9) を得る同方法小據て (10) を得故小 (11)
(12) (13) を得 (14) (15)

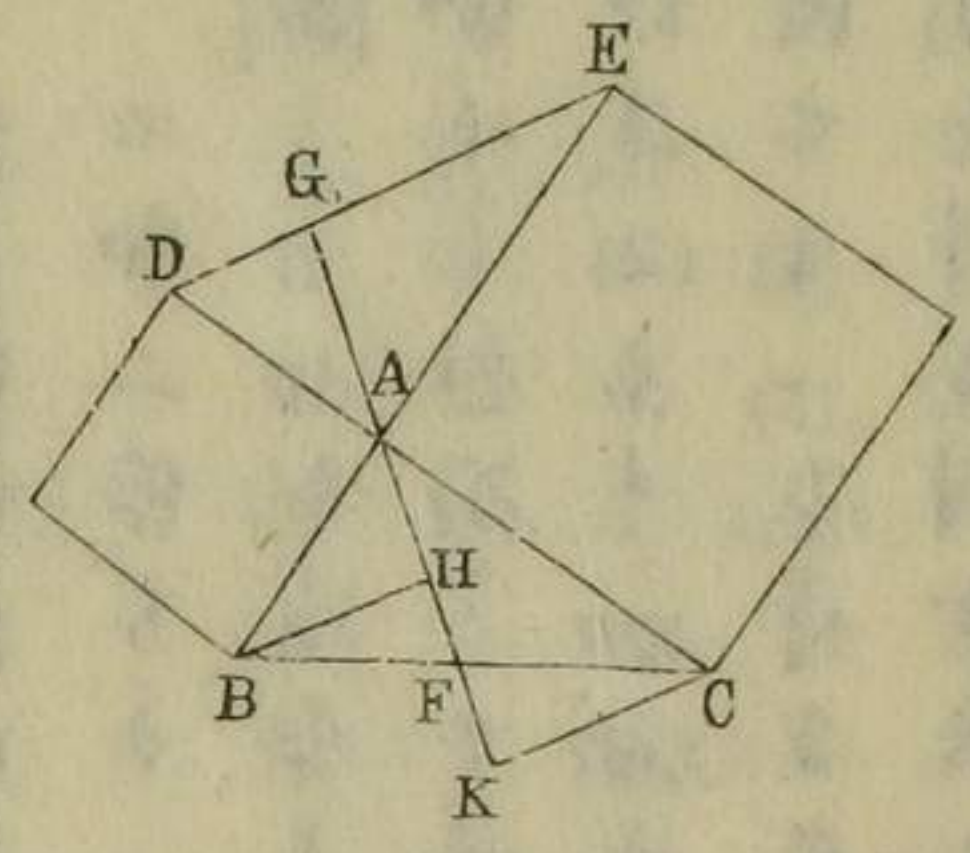


$$\begin{aligned} AB &= DE & (1) \\ AC &= GF & (2) \\ BC &= KH & (3) \\ BC^2 + EG^2 &= 2AB^2 + 2AC^2 & (4) \\ AB^2 + FH^2 &= 2AC^2 + 2BC^2 & (5) \\ AC^2 + DK^2 &= 2AB^2 + 2BC^2 & (6) \\ KH^2 + EG^2 + DG^2 + FH^2 + GF^2 + DK^2 &= 4AB^2 + 4AC^2 + 4BC^2 & (7) \end{aligned}$$

相併せて之 (5) (6) (27) (27) の (證) (1) (2) (3) する

る故小 (21) (22) を以て之を變 (23) を得 (18) 小因て (24) ある
 故小 (25) を得る依て ABC の三角小於て云云
 三十八 (25) を得る依て ABC の三角小於て云云
 を結ひ六邊形 DEGFHK を三角小於て云云
 各三角の各邊の上小画く方の和の四倍小等しある

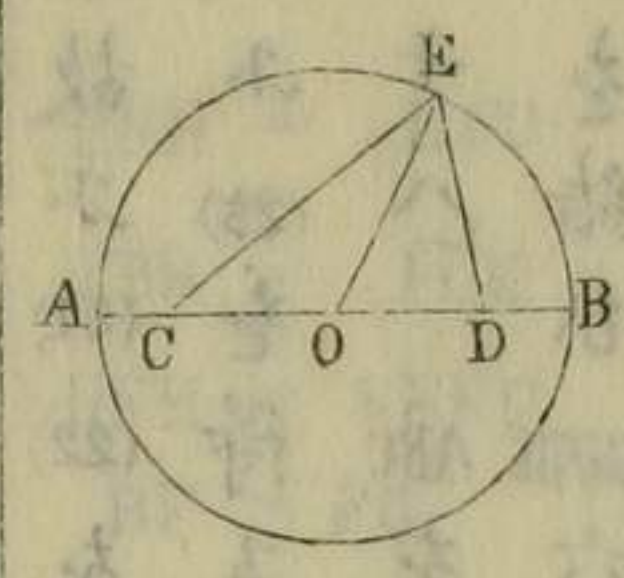
$$\begin{aligned} \sphericalangle BFH &= \sphericalangle KFC & (15) \\ \sphericalangle FBH &= \sphericalangle FCK & (16) \\ \triangle BFH &= \triangle FKC & (17) \\ BF &= FC & (18) \\ FH &= FK & (19) \\ DE &= DG + EG & (20) \\ &= AH + AK & (20) \\ AH + AK &= 2AH + FH & (21) \\ + FK &= 2AH + 2FK & (21) \\ AF &= AH + FH & (22) \\ DE &= 2(AH + FH) & (23) \\ &= 2AF & (23) \\ BC &= 2BF & (24) \\ BC^2 - DE^2 &= 4BF^2 + & (25) \\ 4AF^2 &= 2AB^2 + 2AC^2 & (25) \end{aligned}$$



$$\begin{aligned} \sphericalangle BAD &= \sphericalangle R & (1) \\ \sphericalangle BAH + \sphericalangle DAG &= \sphericalangle R & (2) \\ \sphericalangle AHB &= \sphericalangle AGD = \sphericalangle R & (3) \\ \sphericalangle BAH &= \sphericalangle ADG & (4) \\ \sphericalangle ABH &= \sphericalangle DAG & (5) \\ AB &= AD & (6) \\ \triangle BAH &= \triangle ADG & (7) \\ DG &= AH & (8) \\ AG &= BH & (9) \\ \triangle CAK &= \triangle AEG & (10) \\ EG &= AK & (11) \\ AG &= CK & (12) \\ BH &= CK & (13) \\ \sphericalangle BHF &= \sphericalangle FKC = \sphericalangle R & (14) \end{aligned}$$

得小 (17) (126) (16) 又 (18) あり因る (20) (19) を故て故

を變(7)を得る依て或る三角の三邊云云
 三十九 AOBを圓の中徑小命Oを中心とせ之より
 同距離小C、D二点を設け此二点より周中の或る
 一点假令バEへCE、DE二直線を引く時此二直線
 各の上の方の和を圓周中の一点其周中於て何
 處へ位置を變るとも異なるあきあり

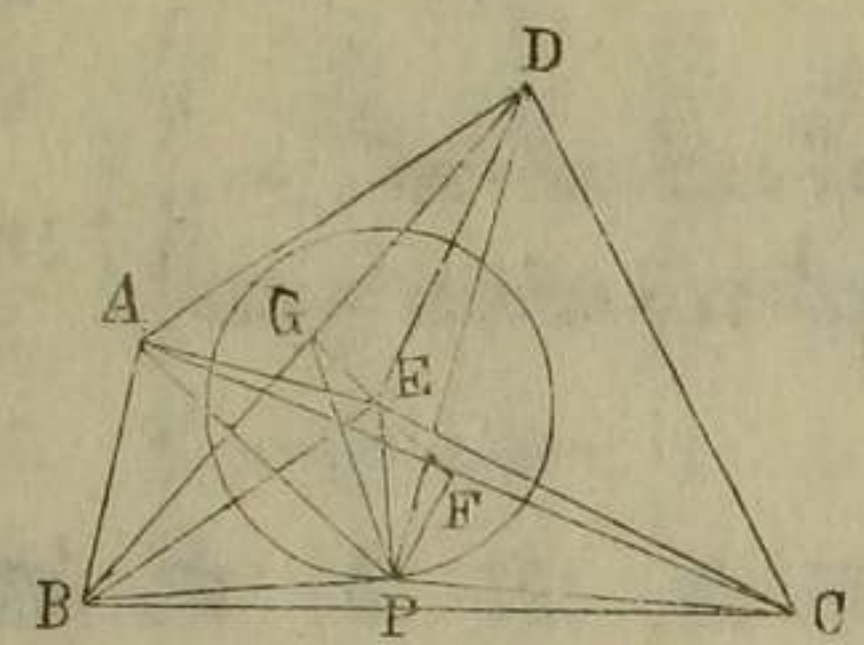


然る小E点周中の何處へ位置
 を變るとも皆(1)の如き式を得
 て相變する無き事明らかあり
 依て本題を證明し得べし

$$CE^2 + DE^2 = 2OC^2 + 2OE^2 \quad (1)$$

三十一 ABCDの四邊圖の對角線各の中央を結ぶ直線を

E点小於て等令し此E点を中心とせ隨意の半
 徑を以て圓を画き圓周のP点へ角点各より引く
 直線即ちPA²+PB²+PC²+PD²をP点周中於て何處へ位
 置を變るとも異なる事あきを詳解せし



- GE = EF (1)
- BG = GD (2)
- AF = FC (3)
- PA²+PC² = 2AF²+2PF² (4)
- PB²+PD² = 2BG²+2PG² (5)
- PF²+PG² = 2EF²+2PE² (6)
- 2PF²+2PG² = 4EF²+4PE² (7)
- PA²+PC²+PB²+PD² = 2AF²+2PF²+2BG²+2PG² (8)
- PA²+PC²+PB²+PD² = 2AF²+2BG²+4EF²+4PE² (9)
- AE²+CE² = 2AF²+2EF² (10)
- BE²+DE² = 2BG²+2EF² (11)
- AE²+CE²+BE²+DE² = 2AF²+4EF²+2BG² (12)

$$\left. \begin{aligned} PA^2 + PC^2 + PE^2 + PD^2 &= \\ AE^2 + CE^2 + BE^2 + DE^2 + 4EF^2 & \end{aligned} \right\} (13)$$

ま小在るも變まる事あり依て本題を證明せり

(證) AE、BE、CE、DE、PE、PF、PGを連結せ(1)(2)(3)先
 知小して用法第(四)小因て(4)(5)(6)を得
 る(6)を二倍して(7)とある(4)(5)相併せて
 (8)を得る之を變して(9)を得る(用法第(四)
 小因て(10)(11)を得相併せて(12)とある以て
 (9)を變して(12)を得る此式もP点圓周の何

幾何學原礎卷二例題補遺

- 第一 直角三角の銳角の一個より相對する邊を二
 等分し畫く直線上の方形を弦の上の方形より小
 かる事二分せし邊の半の上の方形の三倍あり
- 第二 或る三角小於て頂角より底小垂線を畫く時
 右二邊上の方形の差が底の分線上の方形の差小
 等きあり
- 第三 直角三角の銳角の一個より相對する邊小迄
 畫く直線上の方と其邊上の方の和を弦上の方と
 直角小隣たる分線上の方の和小等きあり
- 第四 定二方の差小等き方を画く求む

第五 ABCの等邊三角の一辺ACの midpoint DよりDEをBCに垂線し画く而してBD上の方をBC上の方の四分三あり又直線BEをBCの四分三あり

第六 定線を引延し其引延したる全線と引延したる線の因て有つ矩形を定方形に等しうらむるを求む

第七 $(a+x)(a-x)+x^2 = a^2$ $(a+x)^2+(a-x)^2 = 2a^2+x^2$

此二個の方程式を考定第五第六の象ち及び考定第九第十の象ちある事を詳解せよ

第八 圓の弦より是に平行せる中徑に隨意の点を設け此点より弦の兩端に画く線の上の方の和を

徑の分線上の方の和に等き者あり

第九 二等邊三角ABCに於て若ADが頂角より底に於る或る点に畫く時をAB、AD各の上の方の差をBD、CDの矩形に等き事を詳解せよ

第十 若ABCの三角のB、C角の各がA角の二倍ある時をAB上の方をBC上の方とAB、BCの矩形の和に等きあり

第十一 本巻例題第十五の題に於て垂線上の方を垂線と等角の間の線上の方を邊の分線の矩形二倍を加ふる者に等きあり

第十二 直角三角の直角より弦上の方の相對せる

角を画く二線各の上の方の差を三角の二邊各の上の方の差に等きあり

第十三 不等邊三角の一邊を引延し此線と引延せし部分不因て成る矩形を他の二邊各の上の方の差に等しからしめん事を求む

第十四 若ABCの三角の一邊ACを直線BDのD点に於て二分せべく畫きAより底線に迄垂線AEを画く時或BDの上の方をE点よりBC上にある歟或はBCを引延したる上にある歟不隨てBC、BEの矩形とACの半分の上の方との和或は差に等き事を詳解すべし

第十五 矩形を其二邊各の上の方の斜線不因て成る矩形の半をあり

第十六 平行邊形の斜線各の上の方の和を四邊各の上の方の和に等きあり

第十七 四邊圖の對角線各の上の方の和を相對する邊の中央を結ぶ二線各の上の方の和の二倍あり

第十八 若四邊圖の相對する二邊を等分する時或他の二邊各の上の方と斜邊各の上の方との和を二分せし邊各の上の方と二分の点を結ぶ直線上の方四倍の和に等きあり

第十九 ABCの直角三角の弦ABをD、E点不於て三等
分しCD、CEを結ぶ時をCDEの各邊上の方の和を弦の
上の方の三分二ある事詳解せよ

第二十 定直線を二部に分ち此分線不因て有つ矩
形を定方形不等しうらむるを求む又定めたる
線と方との大小不因て出来せざる事を詳解せ
よ

第二十一 方形と三角と其積等き時を三角の周圍
を方形の周圍より大ある者あり
第二十二 二等邊三角の底線中の一点より他の二
邊へ画せる垂線の和を一点何處へ位置を變てる

とも異なる事無きを詳解せよ

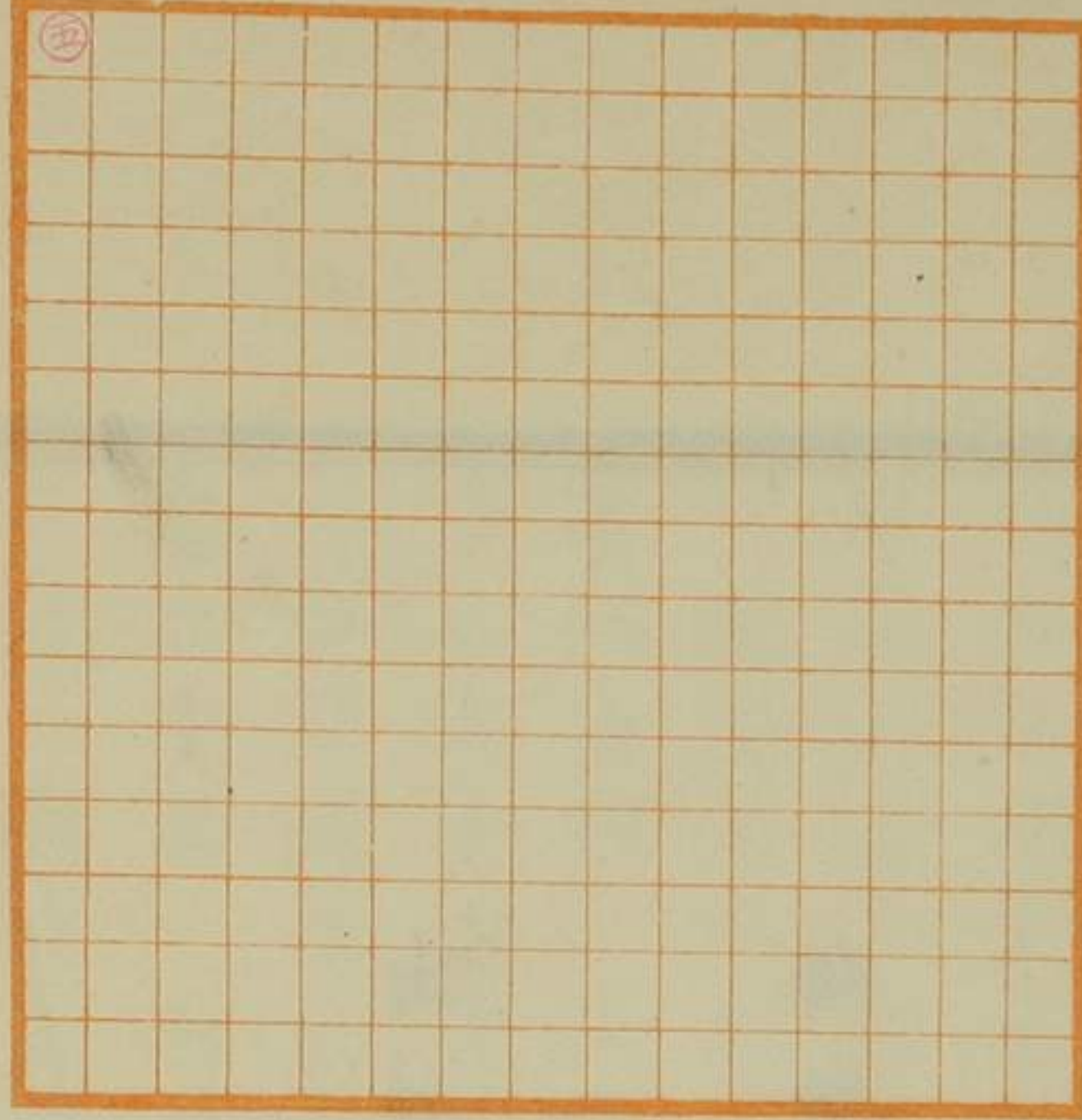
第二十三 矩形内よ於て各邊其對角線不平行を
四邊圖を作る事を得るし而して此四邊圖の周圍
を矩形の對角線二倍ある事を詳解せよ

第二十四 三角の二邊の中央点を結合せる一線を
底邊不平行し且つ其半不相等し

第二十五 三角の一角を若干不等分せし線各を以
て其對邊を分割せむ各部不等あるべし而して垂
線不近き部を遠き部より小あるべし

幾何學原礎卷二例題解式 終

5年5月



幾何學原簿卷二例題解三

版權免許
明治十五年五月十七日
明治十五年七月廿四日出版

定價金二十錢

者

静岡縣士族

川北朝鄰

東京麹町區富士見町三丁目廿八番地

同 平民

廣瀨市藏

駿河國有渡郡静岡江川町十二番地

幾何學原簿卷二例題解三

版權免許
明治十五年五月十七日
明治十五年七月廿四日出版

定價金二十錢

編輯者

静岡縣士族

川北朝鄰

東京麹町區富士見町三丁目廿八番地

出版人

同 平民

廣瀨市藏

駿河國有渡郡静岡江川町十二番地

